



熊本のアネシス、建築部門の新拠点『アネシステックラボ』を設立 ～コミュニケーションと生産性を向上させ、技術革新を加速～

総合住宅メーカーの株式会社アネシス（熊本市東区長嶺南）は建築部門の新たな拠点としてアネシステックラボを設立したことをお知らせします。このアネシステックラボはアネシスグループ15拠点目となりました。アネシステックラボ設立を機に社員のコミュニケーションを活性化させ、さらなる生産性とお客様へ提供する住宅の品質の向上を目指します。



■なぜ今、新拠点設立なのか

アネシスグループが熊本県内外に拠点を展開する中、この度、家づくりの中核を担う「建築統括本部」が、本社（熊本市東区長嶺南）から新拠点『アネシステックラボ』へ移転しました。現場監督や設計担当者など、住宅建築のプロフェッショナルが集うこの部門には、以前から解決すべき大きな課題があったと、建築統括本部 本部長の成松 晋吾は語ります。

「これまでは、同じ社屋にしながら業務を行う場所が離れていました。それにより、スタッフ間の情報共有や連携が難しく、コミュニケーションに課題を抱えていました。」

昨今、多くの企業で「社内コミュニケーション」は重要な経営課題として認識されています。なぜなら、良好なコミュニケーションは社員のエンゲージメント（仕事への熱意や貢献意欲）を高め、企業の成長に直結するからです。事実、米Gallup社が世界中の企業を対象に行ったメタ分析レポートによると、従業員エンゲージメントが高い企業は低い企業に比べ、収益性が21%、生産性が17%高いことが報告されています。

この事実を踏まえ、私たちは自社のコミュニケーション課題を解決しさらなる成長を遂げるため、新拠点設立プロジェクトを始動させました。

■課題解決のための戦略的オフィス投資

建築統括本部が抱える課題に対し、全社的な働き方改革の観点から新拠点プロジェクトを主導したのが管理本部総務課です。その戦略には、複数の経営課題を同時に解決する明確な狙いがありました。

「当社の最大のミッションは『コミュニケーションの活性化』と、そこから生まれる『新しいアイデアの創出』です。以前から建築統括本部内の連携の難しさが課題として挙がっていたことに加え、事業拡大による深刻なスペース不足も無視できない状況でした。今回の新拠点設立は、これら2つの重要な経営課題を同時に解決する、一石二鳥のソリューションとなります。社員が活発に対話できる環境を整備することが、業務効率を高め、最終的にはワークライフバランスの向上にも繋がると確信しています。」

■【調査結果】「コミュニケーション増」「集中力向上」の声、7割を超える

新拠点『アネシステックラボ』の開設は、社員の働き方にどのような変化をもたらしたのでしょうか。移転から2ヶ月が経過した今、そのリアルな声を可視化すべく、建築統括本部の社員を対象にアンケート調査を実施しました。

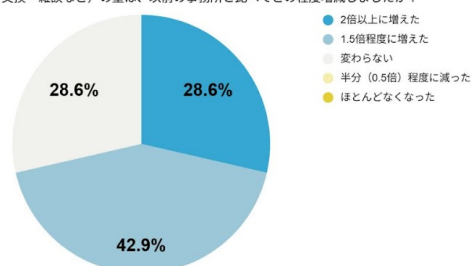
まず特筆すべきは、新しいオフィスに対する総合満足度です。アンケートの結果、回答者全員となる100%の社員が「満足している」と回答しました。

さらに、オフィス戦略の柱であった「コミュニケーション」と「集中」というテーマにおいても、大きな改善が見られました。具体的には、**7割を超える社員が「円滑な業務につながるコミュニケーションが1.5倍程度/2倍以上増えた」「以前より集中しやすくなった」と実感していることが明らかになりました。**

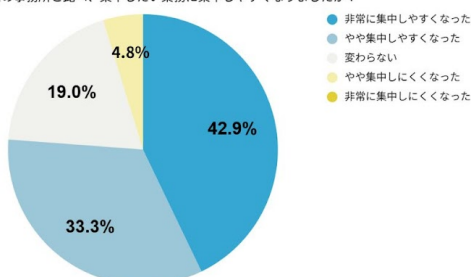
以下、アンケートで寄せられたお声を一部ご紹介します。

- ・ 建築部門の部署が集まっているため、わからないことがあればすぐに聞けるようになりました。ちょっとした話もしやすくなり、とても仕事がしやすい環境です。
- ・ 建築部での意見交換が円滑になり、業務の効率が上がって集中しやすくなったと感じます。

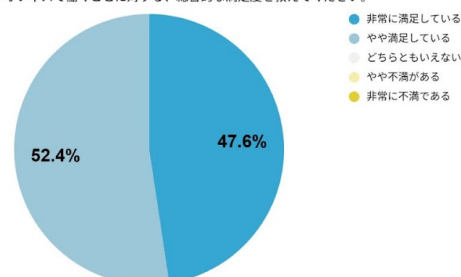
業務を円滑に進めるための、他スタッフとのコミュニケーション（相談・情報共有・アイデア交換・雑談など）の量は、以前の事務所と比べてどの程度増減しましたか？



以前の事務所と比べ、集中したい業務に集中しやすくなりましたか？



新しいオフィスで働くことに対する、総合的な満足度を教えてください。



■未来への展望

本部長の成松は、建築統括本部が一か所に集まりコミュニケーションが活発化したことを受け、「今後もさらにアイデアの創出と問題解決のスピードを上げていきたい」と語ります。

「建築統括本部全体のレスポンスが早くなることで、現場での問題解決が迅速に進み、結果として工期の短縮が実現します。一棟一棟の工事が早く完了すれば、年間に手掛けられる工事の件数、すなわち『工事回転率』が向上します。この好循環が、会社全体の収益性を高め、利益貢献をもたらすと確信しています。」

さらに、私たちは建築業界が抱える「職人の高齢化とそれによる人手不足」という課題に、この新拠点から向き合っていきます。

今後の取り組みの一つが、部材の加工作業です。これまで大半を工事現場で行ってきた作業の一部をアネシステックラボに集約することで、現場の負担を軽減します。これにより、天候に左右されない安定した環境での作業が可能となり、建物の施工精度向上と工期短縮を目指します。

また、このラボは若手の職人が実践的な技術を学ぶ、挑戦の場としての役割も担います。私たちはこの場所で技術継承と生産性向上を両立させ、未来の担い手を育てていきます。「技術職の社員が集まるこの場所を、新しいことに挑戦できる拠点にしたい」という成松の言葉は、その決意の表れです。

建築の未来に向かって、アネシスの建築統括本部は今後も邁進していきます。

<会社概要>

会社名：株式会社アネシス

所在地：〒861-8039

熊本県熊本市東区長嶺南8丁目8 - 55

設立：1994年7月7日

代表者：代表取締役 加藤 龍也

資本金：3000万円

事業内容：熊本、福岡エリアで宅地分譲に強みを持ち住宅用宅地と建売住宅を提供
設計士と直接打合せが可能な注文住宅ブランドアーキハウスや自然素材を活用したミニマルデザインの注文住宅など
日本レジリエンス大賞受賞

このリリース・取材に関するお問い合わせ

株式会社アネシス

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南8丁目8 - 55

担当：松下（マツシタ）

TEL：090-1294-3167 MAIL：koya.matsushita@anesis.co.jp